

1 大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる

1-1 【地震】住宅・建築物などの倒壊による多数の死傷者の発生

- 住宅の耐震化
- ・木造住宅耐震診断費補助／木造住宅耐震改修補助

重要業績指標	住宅の耐震化率	担当課名	建築指導課
基準値（令和元年度）	94.5%（H30）	目標値（令和6年度）	おおむね解消
		達成区分	維持

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	94.5%	94.5%	94.5%	94.5%

進捗状況の説明

令和5年度の耐震化率は、平成30年度の統計調査の確報値を基にした推計値である。統計調査は5年ごとに行われる予定である。

令和6年度の耐震化率は、平成30年度の統計調査の確報値を基にした推計値である。統計調査は5年ごとに行われる予定である。

総括

耐震化率は、統計調査の確報値を基にした推計値であり、統計調査は5年ごとに行われる予定であるため進捗の確認はできないが、耐震診断・耐震改修の補助事業については一定数の申し込みがなされている。

建築物の耐震化

・市庁舎の耐震化

重要業績指標	庁舎の耐震安全性	担当課名	庁舎総合整備課
基準値（令和元年度）	Is値0.21	目標値（令和6年度）	耐震安全性の分類Ⅰ類 (Is値換算0.9以上)
		達成区分	維持

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	Is値0.21	Is値0.21	Is値0.21	Is値0.21

進捗状況の説明

令和6年3月に新庁舎建設工事に向けて八千代市新庁舎建設工事実施設計業務委託を契約締結し、令和6年度末の実施設計完了を目指し、設計業務を開始した。

令和5年度に契約締結した新庁舎建設工事実施設計を完了し、次年度での新庁舎建設工事事業者選定の準備を実施した。

総括

KPIの実績は現状維持となったものの、新庁舎建設工事に向けた準備が設計等を含めて進行している。次年度以降は新庁舎建設工事を実施し、完成後の目標値達成を目指す。

ブロック塀等の撤去

- ・危険コンクリートブロック塀等撤去費補助

重要業績指標	危険コンクリートブロック塀等撤去費補助 件数	担当課名	建築指導課
基準値（令和元年度）	19件	目標値（令和6年度）	25件/年
		達成区分	維持

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	20件	4件	6件	5件

進捗状況の説明

令和5年度においては、目標件数25件に対して6件の実績となった。令和6年度においても引き続き周知啓発に努めることとする。

令和6年度においては、目標件数25件に対して6件の実績となった。令和7年度においても引き続き周知啓発に努めることとする。

総括

危険コンクリートブロック塀等撤去費補助金の申請数は目標値を下回るが、市内の危険コンクリートブロック塀に対するフォローアップ調査等において、例年一定数の改善が確認されている。

避難路の確保

・都市計画道路の整備推進

重要業績指標	都市計画道路の整備延長	担当課名	都市計画課・土木建設課
基準値（令和元年度）	45,562m	目標値（令和6年度）	46,757m
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	45,562m	45,562m	45,702m	45,702m

進捗状況の説明

令和5年度の実績として、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の道路完成により、前年度と比べて140m整備が進んだ。

令和6年度の実績として、各都市計画道路整備事業における用地取得等は進めたが、工事が完了し供用開始された区間はないため、都市計画道路の整備延長としては変更無し。

総括

目標値の達成には至らなかったが、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の開通や、用地の確保を進めることができた。今後も用地確保に努め、道路整備を進めていく。

1-2 【火災】大規模火災による多数の死傷者の発生

市街地の整備

・都市計画道路の整備推進【再掲】

重要業績指標	都市計画道路の整備延長【再掲】	担当課名	都市計画課・土木建設課
基準値（令和元年度）	45,562m	目標値（令和6年度）	46,757m
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	45,562m	45,562m	45,702m	45,702m

進捗状況の説明

令和5年度の実績として、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の道路完成により、前年度と比べて140m整備が進んだ。

令和6年度の実績として、各都市計画道路整備事業における用地取得等は進めたが、工事が完了し供用開始された区間はないため、都市計画道路の整備延長としては変更無し。

総括

目標値の達成には至らなかったが、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の開通や、用地の確保を進めることができた。今後も用地確保に努め、道路整備を進めていく。

1-3 【洪水等】異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水等による多数の死傷者の発生

洪水、浸水、内水対策
・雨水管渠整備事業

重要業績指標	雨水整備率	担当課名	下水道課
基準値（令和元年度）	43.3%	目標値（令和6年度）	43.5%
		達成区分	達成

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	44.5%	44.6%	46.8%	46.8%

進捗状況の説明
令和5年度の実績として46.8%であり、前年度と比べて2.2%上昇。目標以上を達成。
令和6年度の実績として46.8%であり、前年度から変化はないが、目標以上を達成。

総括
目標値43.5%に対し、実績値46.8%であり、目標以上を達成することができた。

土砂災害・宅地造成等への対応

・急傾斜地崩壊対策事業

重要業績指標	急傾斜地崩壊対策整備率	担当課名	土木建設課
基準値（令和元年度）	91.4%	目標値（令和6年度）	93.9%
		達成区分	達成

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	93.1%	93.3%	93.7%	94.6%

進捗状況の説明

令和5年度の実績として、下高野地区急傾斜地崩壊対策工事を一部実施し、前年度と比べて0.4%上昇した。

令和6年度の実績として、下高野地区急傾斜地崩壊対策工事を一部実施し、前年度と比べて0.9%上昇した。

総括

崩壊対策工事は千葉県から補助金の交付を受けて整備を進めている。R4年度に要綱の改正があり補助金が増額したことにより事業費も増額になり目標を上回ることが出来た。今後も対策工事を進め、整備率の向上を目指す。

2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）

2-1 【物資】被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止

供給支援体制構築・災害時協定
・市内小売業者等との協定締結数

重要業績指標	市内小売業者等との協定締結数	担当課名	危機管理課
基準値（令和元年度）	20件	目標値（令和6年度）	増加
		達成区分	達成

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	20件	21件	22件	22件

進捗状況の説明

令和5年度実績は、22件であり前年度から1件増加した。

令和6年度実績は、22件であり前年度と同数。

総括

令和5年度の時点において協定締結数が22件となり、基準値である20件から2件増加したことで、目標である増加を達成した。今後も、平常時から連携強化に努めるとともに、さらに実効性の高い物資の調達・受入体制を構築していく。

道の駅の整備

・防災道の駅整備事業

重要業績指標	防災道の駅の防災機能整備数	担当課名	危機管理課
基準値（令和元年度）	2 機能 ※	目標値（令和6年度）	4 機能
		達成区分	達成

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	2 機能	2 機能	4 機能	4 機能

進捗状況の説明

令和5年度の防災倉庫及びMCA無線の整備をもって、既設の耐震化及び無停電化を合わせた4機能の整備が完了し、目標を達成した。

総括

令和5年度の防災倉庫及びMCA無線の整備をもって、既設の耐震化及び無停電化を合わせた4機能の整備が完了し、目標を達成した。

※令和4年3月補正にて追加（令和4年3月時点）

2-2 【救助・救急】消防等の被災等による救急・救助活動等の絶対的不足，エネルギー供給の途絶による活動の停止

消防力の強化

・消防水利の整備・維持管理

重要業績指標	防火水槽数（公設）	担当課名	警防課
基準値（令和元年度）	449基	目標値（令和6年度）	461基
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	455基	450基	456基	454基

進捗状況の説明

令和5年度の実績は新設8基，撤去2基であったため，前年度から6基増となっている。

令和6年度実績は撤去2基であったため，前年度から2基減となった。

総括

目標とする461基に7基及ばなかった要因としては，老朽化した防火水槽の撤去が増加したことが理由としてあげられる。そのため，令和7年度以降も消防水利の強化を図ると同時に，目標数に撤去による基数の反映も必要であると考察する。

2-5 【衛生管理】被災地における疫病・感染症等の大規模発生

避難所における衛生管理

・小中学校のトイレの乾式化

重要業績指標	校舎及び体育館のトイレの乾式化率	担当課名	教育総務課
基準値（令和元年度）	64.0%	目標値（令和6年度）	75.0%
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	70.0%	70.0%	71.4%	72.1%

進捗状況の説明

令和5年度はトイレ乾式化に向けた実施設計を行った。令和6年度は当該設計に基づく改修工事を実施する。

令和5年度にトイレ改修に係る実施設計を行った学校については、令和6年度に計画通り改修工事を実施した。

総括

基準値から8.1%増加したが、目標値を2.9%下回る結果となった。

今後も、避難所における衛生環境の改善のため、小中学校のトイレの乾式化を進めていく。

3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する

3-2 【行政機能】行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下

行政機能の継続

- ・市庁舎の耐震化【再掲】

重要業績指標	庁舎の耐震安全性【再掲】	担当課名	庁舎総合整備課
基準値（令和元年度）	Is値0.21	目標値（令和6年度）	耐震安全性の分類Ⅰ類 （Is値換算0.9以上）
		達成区分	維持

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	Is値0.21	Is値0.21	Is値0.21	Is値0.21

進捗状況の説明

令和6年3月に新庁舎建設工事に向けて八千代市新庁舎建設工事実施設計業務委託を契約締結し、令和6年度末の実施設計完了を目指し、設計業務を開始した。

令和5年度に契約締結した新庁舎建設工事実施設計を完了し、次年度での新庁舎建設工事事業者選定の準備を実施した。

総括

KPIの実績は現状維持となったものの、新庁舎建設工事に向けた準備が設計等を含めて進行している。次年度以降は新庁舎建設工事を実施し、完成後の目標値達成を目指す。

4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する

4-1 【情報通信】通信インフラの麻痺・機能停止

- 情報通信機能の強化
- ・防災行政無線（固定系）のデジタル化再整備

重要業績指標	防災行政無線（固定系）のデジタル化率	担当課名	危機管理課
基準値（令和元年度）	50.4%	目標値（令和6年度）	100.0%
		達成区分	達成

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

進捗状況の説明

総括

令和3年度の工事をもって、市内に設置している全125か所の防災行政用無線デジタル化再整備工事が完了し、目標を達成した。

情報伝達手段の確保

- ・災害時における情報伝達手段の多重化・多様化の検討

重要業績指標	やちよ情報メール（防災情報）の登録者数	担当課名	危機管理課
基準値（令和元年度）	16,142件	目標値（令和6年度）	23,500件
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	20,629件	20,682件	20,401件	19,922件

進捗状況の説明

令和5年度実績は、20,401件で前年度から281件減少した。

令和6年度実績は、19,922件で前年度から479件減少した。

総括

令和6年度末の登録者数は19,922件となり、目標値（23,500件）に達することができなかった。発災時の情報収集手段の一つとして、やちよ情報メールについて、ホームページ、市民向けの講話・訓練、市の封筒に二次元バーコードを印字するなど、様々な方法で周知、啓発を図ってきたが、情報収集手段の多様化などにより、近年の登録者数の減少に繋がった。また、令和元年度以降、八千代市では大きな災害に見舞われることはなかったため、防災意識の低下も考えられる。今後も、引き続き情報収集手段の一つとして、やちよ情報（防災情報）メールおよびLINEの周知を図り、また防災意識の向上につながる様、周知、啓発を行っていく。

6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早急復旧を図る

6-2 【上水道】上水道の長期間にわたる機能停止

上水道施設の強化

- ・「八千代市水道施設再構築基本計画」及び「八千代市水道管路施設耐震化計画」に基づく整備

重要業績指標	市内全域の水道管路における耐震化率	担当課名	上水道課
基準値（令和元年度）	59.3%	目標値（令和6年度）	64.5%
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	60.9%	62.0%	62.9%	63.4%

進捗状況の説明

令和5年度の実績は62.9%で前年度と比べ0.9ポイント上昇した。

令和6年度の実績は63.4%で前年度と比べ0.5ポイント上昇した。

総括

工事発注の平準化の影響などにより目標値である64.5%の達成はできなかったが、基準値である59.3%から5.2%上昇させることができた。今後も計画的に管路の耐震化を進めていく。

6-3 【汚水処理】汚水処理施設の長期間にわたる機能停止

下水道施設の強化

・下水道施設の点検・調査

重要業績指標	汚水管渠（幹線及び重要路線）の点検・調査実施率	担当課名	下水道課
基準値（令和元年度）	0.0%	目標値（令和6年度）	100.0%
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	46.3%	54.7%	96.6%	96.6%

進捗状況の説明

令和5年度実績として96.6%であり、令和4年度補助執行残を使用し、令和6年度に予定されていた箇所を前倒しで実施したことにより、前年度と比べ41.9%上昇。目標達成に向けて堅調に推移している。

令和6年度の実績として96.6%であり、令和4年度補助執行残を使用し、令和6年度に予定されていた箇所を前倒しで実施したことにより、令和6年度は点検を実施しなかった。次回は令和8年度から点検を行う予定である。令和6年度の目標値は概ね達成できた。

総括

概ね対象としている箇所について点検している。

下水道施設の強化

・下水道施設の修繕・改築

重要業績指標	汚水管渠（幹線及び重要路線）の改築実施率	担当課名	下水道課
基準値（令和元年度）	0.0%	目標値（令和6年度）	100.0%
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	23.2%	23.2%	76.7%	76.7%

進捗状況の説明

令和5年度実績として76.7%であり、前年度と比べ53.5%上昇。目標達成に向けて堅調に推移している。

令和6年度実績として76.7%であり、令和6年度は改築工事を実施しなかった。次回は令和8年度から改築工事を行う予定である。

総括

一部の区域において、支障木を撤去することが出来なかったことにより改築が出来ない箇所があるが、概ね対象としている箇所について改築している。

6-4 【交通】地域交通ネットワークが分断する事態

道路ネットワークの形成

- ・都市計画道路の整備推進【再掲】

重要業績指標	都市計画道路の整備延長【再掲】	担当課名	都市計画課・土木建設課
基準値（令和元年度）	45,562m	目標値（令和6年度）	46,757m
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	45,562m	45,562m	45,702m	45,702m

進捗状況の説明

令和5年度の実績として、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の道路完成により、前年度と比べて140m整備が進んだ。

令和6年度の実績として、各都市計画道路整備事業における用地取得等は進めたが、工事が完了し供用開始された区間はないため、都市計画道路の整備延長としては変更無し。

総括

目標値の達成には至らなかったが、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の開通や、用地の確保を進めることができた。今後も用地確保に努め、道路整備を進めていく。

7 制御不能な二次災害を発生させない

7-1 【市街地・緑地】市街地での大規模火災の発生

公園・緑地等の確保による延焼防止

・都市公園の整備・維持管理

重要業績指標	都市公園の面積	担当課名	公園緑地課
基準値（令和元年度）	951,100㎡	目標値（令和6年度）	1,020,000㎡
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	989,117㎡	1,010,638㎡	1,011,234㎡	1,012,511㎡

進捗状況の説明

令和5年度の実績は、1,011,234㎡(公告面積。未公告を含めると1,096,743㎡)であり、前年度と比べ596㎡、都市公園の整備が進んだ。

令和6年度の実績は、1,012,511㎡(公告面積。未公告を含めると1,098,020㎡)であり、前年度と比べ1,277㎡、都市公園の整備が進んだ。

総括

目標値の達成はできなかったが、都市公園面積は毎年一定程度増加していた。

延焼遮断帯の形成による延焼防止

・都市計画道路の整備推進【再掲】

重要業績指標	都市計画道路の整備延長【再掲】	担当課名	都市計画課・土木建設課
基準値（令和元年度）	45,562m	目標値（令和6年度）	46,757m
		達成区分	向上

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値	45,562m	45,562m	45,702m	45,702m

進捗状況の説明

令和5年度の実績として、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の道路完成により、前年度と比べて140m整備が進んだ。

令和6年度の実績として、各都市計画道路整備事業における用地取得等は進めたが、工事が完了し供用開始された区間はないため、都市計画道路の整備延長としては変更無し。

総括

目標値の達成には至らなかったが、都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業における西八千代工区の開通や、用地の確保を進めることができた。今後も用地確保に努め、道路整備を進めていく。